



インバート打設



蓋版設置

現場住所：茨城県水戸市某所
物件名：水戸市某所住宅団地造成工事
発注者：茨城グランディハウス株式会社
納入年月：2020年7月～

納入製品：アクアゲッター（雨水貯留側溝）
本体 TY-FNV1 W1000×h1200
蓋版 TY-F0sC1 (TY-FNsCG1) W1000
納入数量：573基 (1080.8m)



WEBカタログ

ホームページ

地盤の低い場所に計画されていた住宅造成地に、内水氾濫対策として雨水流出抑制を目的とした雨水貯留側溝「アクアゲッター」が採用されました。設置後5年が経過しましたが、道路冠水や住宅浸水などの被害は発生していません。



全景



貯留側溝内部



オリフィス

アクアゲッター（雨水貯留側溝）

特長街全体で貯水〈

- 止水機能を備えた大型の自由勾配側溝であり、雨水を一時的に貯留することが可能です。
- 地下貯留施設とは違い、雨水を直接流入できることからゲリラ豪雨等で生じる水害を速やかに緩和することができます。
- 流末にはオリフィスを設け河川等への流出量を調整できます。
- 既存の側溝の位置に施工することで必要に応じた雨水貯留と敷地の形状に合わせた配列で敷地の有効利用が可能です。
- プレキャストコンクリート製品を用いることで、施工工期の大幅な短縮とトータルコストの削減が可能です。
- 内空幅0.6～1.0m、内空高1.0～2.0m (0.1mピッチ)の製品を規格化しています。



※イメージ



製品紹介動画